

ギャラリー仲摩通信

一〇二六年一、二月合併号

新年あけまして
おめでとう
ございます。

昨年もギャラリー仲

摩通信をご愛顧くだ



さり誠に有難うござ
いました。年頭にあ

たり、今年注目の美

術館の展覧会をお知
らせ致します。今号では、北海道在
住ガラス造形作家、中川晃さんに
「イワタリ展」をレポートして頂
きました。美しい白銀の世界で展覧
会を堪能し、蟹料理に舌鼓をうつ魅
力溢れる真冬の札幌にお出かけにな
つてはいかがでしょうか。

本年もアート関連のフレッシュな情
報と私どもの活動を本誌で紹介させ
て頂きます。どうぞ、本年も宜しく
お願い申し上げます。

本年の皆様のご健康とご多幸をお祈
り申し上げます。

彫刻からレリーフ、シャンデリア、
建築の仕事まで、多彩な分野で活躍
した多田美波（一
九二四二〇一四）

の、東京では三十
五年ぶりとなる個
展を開催します。



帝国ホテル「黎明」多田美波

高度経済成長を機
に次々と生まれた
工業素材や技術を

芸術表現へ取り入れた先駆者であ
り、近年も国内外で再評価が高まる
女性作家の軌跡をたどります。初期
の絵画作品から、光の反射や透過を
取り入れた代表的な彫刻、建築空間
のための造形作品までを、関連資料
とともに展覧します。

★第10回現代ガラス展

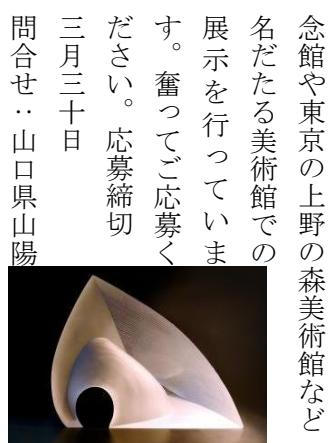
in 山陽小野田

山陽小野田市は、セメントに代表さ
れるように古くから窯業と深い関わ
りがあり、公設ガラス工房の設立や
三年に一度の現代ガラス展を開催す
るなど、ガラスをコンセプトにした
まちづくりに取り組んでいます。

この公募展は、同市出身のガラス造
形作家である故・竹内傳治氏が中心
となり、「ふるさとからガラス文化を
全国発信し、若手ガラス作家を育て

たい」との思いから一〇〇一年より
始まりました。今でもその遺志を受
け継ぎ、四十五歳以下の若手ガラス
作家を対象とした登竜門的コンペテ
イションとして広く知られています。

展示会場も山陽小野田市内にとどま
らず、山口県立萩美術館・浦上記
念館や東京の上野の森美術館など
名だたる美術館での
展示を行っていま
す。奮ってご応募く
ださい。応募締切



第9回大賞「静寂のその先に」作田美智子

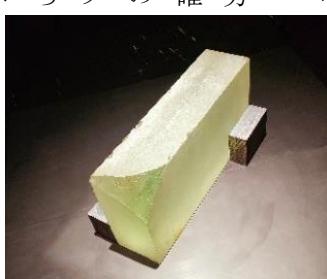
一丁目一番一号 文化スポーツ推進課

小野田市日出

三月三十日
問合せ・山口県山陽

TEL0836-82-1115
[https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/
site/glass-art/](https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/glass-art/)

「イワタリ展」—息づくガラス—



イワタリ 展示作品

展示会場には、言うまでもなく彼女
の名を知らしめたオブジェたちと共に、
生まれ育ったガラス作家三代によ
つて紡がれた、岩田工芸硝子の脈
動が感じられる食器や花器などの工
芸品が並び、最後の一室には、岩田
藤七・岩田久利・岩田糸子各氏の作

品が並んでいます。
それらのバック
ボーンを語る座談会
が、初日に妹のマリ
さん（元岩田工芸硝
子社長）を交えて企
画され、来客文化人
の多様さ、祖父藤七の様々な収集部
屋、中学生から連れて行かれた大人
の世界、祖父や両親から発せられる
文化が混在した家庭の事など盛りだ
くさんの内容が、興味深く聴けまし
た。両親と違い幼少期より入り浸つ
た工場通いは、宙吹き技法の造形工
芸作品とな

り、祖父・
両親と自分
の違いを確
認するかの
ようなオブ
ジェたち
は、ガラス
科がなかつた頃の東京芸大で鋳金を
学んだ後、素材に真摯に向き合い、
静謐でありながら強く「在る」事を
感じさせてくれる…いえ、もっと強

く個人に突きつけてくる彫刻作品で
す。工芸も彫刻も造形だと言わんば
かりのイワタ芸術の造形世界展です。

★「多田美波」 東京都現代美術館

会期：八月二十九日～十二月六日

（中川 晃）

●ダナ・ザメチニコヴァーさんの作品
品、富山市ガラス美術館に所蔵！

二〇〇三年六月、ギャラリー仲摩で
ダナ・ザメチニコヴァーさんの個展
を開催しました。一九八六年に個展
のお願いにプラハのダナさんを訪
ね、見事個展を断
られてから十七年の歳月を経て、ようやく実現した企
画展でした。



Still life/Japan/Ich liebe dich



Lady and Pottery

す。富山市ガラス美術館でお披露目
の際は駆けつけたいと思います。

■美術館情報

◆北海道立近代美術館

「イワタリ展」—息づくガラス—
開催中～一〇二六年二月十五日

開館時間：九時三〇分～十七時

休館日 一月十二日を除く毎曜日及び
一月一日～三日、一月十三日

観覧料 一般千一百円、高大生七百
円、小中学生三百円

※北海道立近代美術館別展示室では
「カラー・オブ・グラス展」と青木
美歌（未生命の遊槽）の展示も同時

に行われています。

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb>

◆東京国立近代美術館

「アンチ・アクション、彼女たち、
それぞれの応答と挑戦」

会期 ～開催中～一月八日

会場 ～一階企画展ギャラリー
開館時間 十時～十七時（金・土は
十時～二十時）入場は三十分前迄

休館日 ～第三火曜日、四月十二日
休館日 ～月曜日（一月十一日は開館）
年末年始、一月十三日

観覧料 一般二千円、大学生千一百
円

アクセス 東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口より徒歩三分
<https://www.momat.go.jp>

◆富山市ガラス美術館

「コノクション展 バカラ、ガレ、
ドーム兄弟・・・、フランス・アーヴィング・オーヴォーのガラス」

会期 ～開催中～五月三十一日

会場 ～展示室4 透ける収蔵庫
閉場日 ～第一・三水曜日、十二月
二十九日～一月一日、二月十九日。
五月六日、五月十三日は開場

会場 ～展示室4 透ける収蔵庫
閉場日 ～第一・三水曜日、十二月
二十九日～一月一日、二月十九日。
五月六日、五月十三日は開場

◆石川県能登島ガラス美術館
<https://toyama-glass-art-museum.jp>

市制21周年・財団11周年記念特別展
「NON GLASS and GLASS 七美×ガラ美」

石川県七尾美術館の所蔵品からやき
ものなどを借用し当館のガラス作品
とともに紹介。様々な材質技法の作
品を通して、ガラス素材による表現
の可能性を探ります。

【編集後記】

アート&クラフトのギャラリーとして親しまれた銀座のA C ギャラリーが昨年末をもって閉廊しました。

数々の展覧会は最近の動向を知ることが出来る貴重な企画でした。これまで十八年間にわたる活動、お疲れ様でした。

隔月発行の「ギャラリー仲摩通信」、途中で休刊しながらも丸三十年になりました。郵送とホームページで配信しています。御不要の方、ご住所、メールアドレスの変更、ご意見、ご要望などぜひお寄せください



【編集・発行】

T-226-0015 横浜市緑区三保町110六〇
ギャラリー仲摩 仲摩マサ枝

nakama@nakama.co.jp TEL:090-1053-6642 FAX:045-507-3080

◆黄金崎クリスタルパークガラス
ミュージアム
「井田未乃のガラス
—折々の風景と身近な草花—」展
会期 ～開催中～四月十五日
休館日 ～四月十六日～四月十七日
会場 ～企画展示室
<https://fikoy-nishizui.jp/crystal/museum/>